

# 加古川市 次世代見守りサービス・スマート防災実証事業の概要 (かこがわICTまちづくり協議会)

1

## ■ 事業のセールスポイント

- 【次世代見守り】市民のスマホなど身近なインフラの活用によるコストを抑えた広域展開の実現
- 【スマート防災】国の技術開発との連携や行政情報ダッシュボードへの浸水センサー等の情報一元化

## ■ 対象区域の概要

名称	加古川市全域
面積	約 138km <sup>2</sup>
人口	約 26 万人

### 位置図



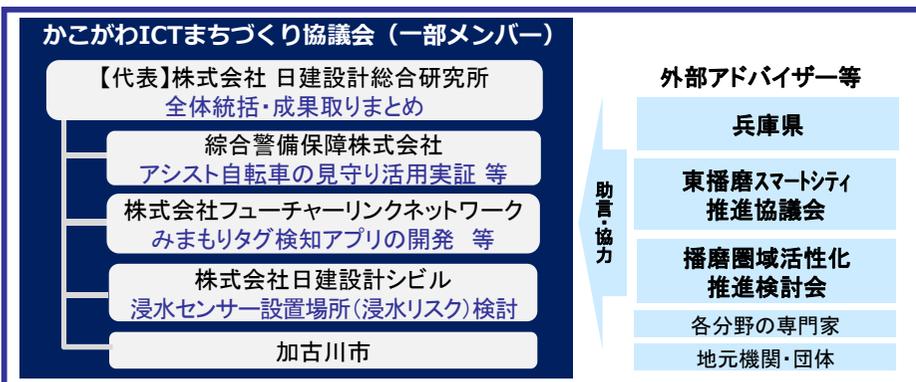
## ■ 都市の課題

- 【防犯】地域防犯性の向上、超高齢化社会への対応 (地域見守り人口の減少、高齢者の徘徊等への対応)
- 【防災】自然災害の激甚化対応 (水害リスクへの備え)

## ■ 解決方法

- 【防犯】みまもりタグ検知アプリの開発 (加西市での連携実証)、アシスト自転車の見守り活用
- 【防災】(国) 浸水把握技術開発との広域連携等、(市) 浸水センサー設置・ダッシュボード一元化

## ■ 運営体制



## ■ KPI(目標)

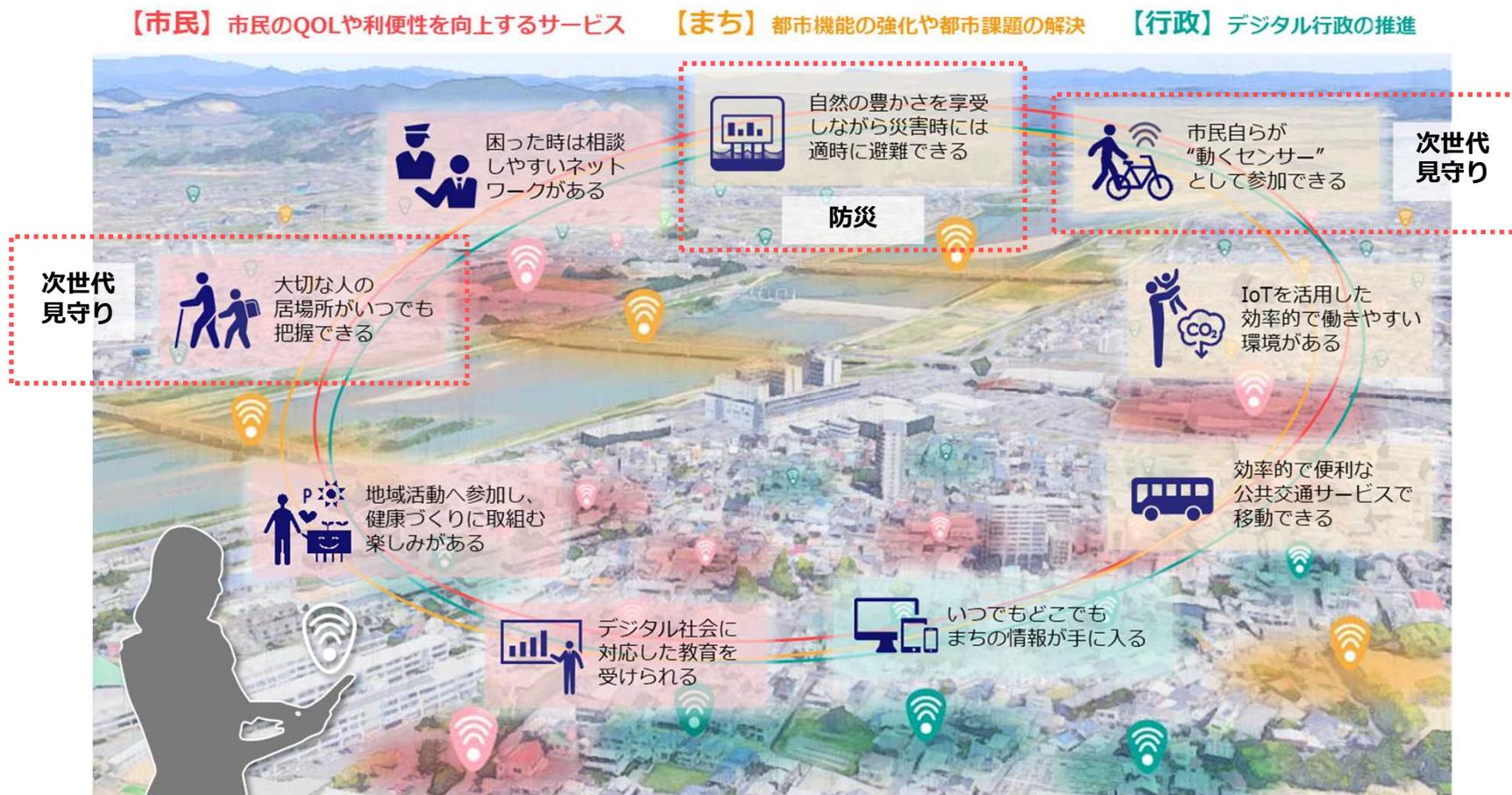
【防犯】刑法犯認知件数  
(2020年) 2,025件 → (2026年) 1,800件

【防災等】ダッシュボードで可視化したデータ数  
(2020年) 35セット → (2026年) 45セット

# 加古川市 次世代見守りサービス・スマート防災実証事業 実行計画 2

## ■ 本実行計画の概要（実証メニューのロードマップ）

取組内容	2020	2021	2022	2023	中長期
【次世代見守り①】 広域みまもりタグ検知アプリ	実証	実証	拡大実証	実装	～新規サービス開発・実証等検討～
【次世代見守り②】 電動アシスト自転車による高齢者の見守り	試行実証	実証	拡大実証	実装	
【防災】 国の浸水把握技術実証との連携、市内センサー設置	実証	拡大実証	実装	広域展開	



# これまで実施した実証実験の概要： 加古川市次世代見守りサービス・スマート防災実証事業

3

【次世代見守り】市民のスマホや自転車など身近なインフラを活用することで、コストを抑えた広域展開の実現に向けた次世代見守りサービス実証

【スマート防災】国の浸水把握技術開発との連携や市内センサー設置による行政情報ダッシュボードへの情報一元化を通じ災害時における市民の避難支援と防災担当部署の負担軽減に向けた実証

## ■ 実証実験の内容

### 次世代見守り

今回開発したスマホアプリや見守りタグを検知可能な自転車を活用し、広域での検知状況や自転車の走行軌跡等を把握

#### みまもりタグ検知アプリ



検知機能  
ON | OFF ボタン



#### 多機能アシスト自転車



IoTユニット  
(みまもりタグ検知等)

### スマート防災

浸水状況等の水害リスク情報を統合して、行政情報ダッシュボードを通じて効果的に市民や防災担当部署に情報提供

#### 国の浸水把握技術開発



加古川市 行政情報ダッシュボード

#### 浸水センサー



#### ハザードマップ等



カーナビ情報提供

## ■ 実証実験で得られた成果・知見

### 次世代見守り

- ・みまもりタグ検知アプリは、市民のスマホを活用した感知器として行政界を越えたシームレスなタグ検知が可能。従来の固定式感知器と比べ、低廉かつ見守り範囲拡大の有効性を確認
- ・アシスト自転車によるタグ検知では、今回は利用時間が限定されたため、レンタサイクル事業など市民利用への拡大が課題

### スマート防災

- ・行政情報ダッシュボードへの防災情報の一元化は、特に、災害時に防災担当者が遠隔で現地の状況を把握できることから、現地確認のリスクや負担の軽減に貢献する点で効果的
- ・出水期に向けて、市内における今回開発システムの運用方策の検討や防災訓練等での活用が必要

# 今後の取組： 加古川市次世代見守りサービス・スマート防災実証事業

- 【次世代見守り】①みまもりタグ検知アプリ：実装化に向けた広域実証、事業スキームの検討  
 ②レンタサイクル事業化を見据えたアシスト自転車の実証継続
- 【スマート防災】出水期に向けた庁内での活用・運用や市民への普及啓発

## ■ 実証実験で得られた課題

### 【次世代見守り①】

#### 広域みまもりタグ検知アプリ

- ✓ 加古川市に隣接する加西市1市の実証参加で、ターゲットは高齢者に限定。
- ✓ 子ども等も対象とした実証に拡大しつつ、参加自治体の意向も踏まえた、実サービス提供時の事業スキームの検討が必要。

### 【次世代見守り②】

#### 電動アシスト自転車による高齢者の見守り

- ✓ アシスト自転車によるタグ検知では、今回は利用時間が限定されたため、レンタサイクル事業など市民利用への拡大が課題。
- ✓ また、自転車の走行ログなどデータ利活用の視点での検討・実証も必要。

### 【防災】

#### 国の浸水把握技術実証との連携、市内センサー設置

- ✓ 出水期に向けて、庁内における今回開発システムの運用方策の検討や防災訓練等での活用が必要



## ■ 今後の取組：スケジュール

取組	2021	2022	2023～
次世代見守り①	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 本アプリの実装化に向けた広域実証(参加地方公共団体)の拡大</li> <li>✓ 事業スキームの検討(サービス内容、予算感(年間サービス利用料)、データ管理、都市OS活用等)</li> </ul>	拡大実証  2021課題解消	実装
次世代見守り②	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ レンタサイクル事業化等を見据えた見守り範囲や時間帯の拡大効果把握、事業化可能性等の検証</li> </ul>	拡大実証  2021課題解消	実装
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 出水期に向けて、今回開発システムの運用方策に係る庁内検討や市民への普及啓発</li> <li>✓ 3D都市モデル等の活用による取組高度化(防災訓練等での活用)</li> </ul>	実装	広域展開